

令和6年度 要望に対応した新規課題と設定理由（農業）

研究課題名（細目課題名）	要望の概要／設定理由	研究の概要	作物研究室)	研究期間	試験研究基本計画2025の重点研究目標
<p>水稲における有機栽培技術の開発（有機栽培に対応した水稲作での抑草及び肥培管理技術の開発）</p>	<p>（要望の概要）</p>	<p>有機栽培に対応した水稲作での抑草技術について明らかにする。また、有機質資材の肥料効果や抑草効果を明らかにする。</p>	<p>作物研究部（作物研究室）</p>	<p>R6～8</p>	<p>イ 気候変動等の環境変化に対応した持続可能な農業の推進</p>
	<p>国が「みどりの食料システム戦略」を策定し、有機農業の拡大を進めており、大規模・超低コストな有機栽培技術の開発及びその収量性、持続可能性等について明らかにする。</p>				
	<p>（設定理由）</p>				
	<p>雑草対策技術の開発や有機質肥料の抑草効果・肥効等を明らかにすることにより、水稲有機栽培の安定化に貢献できる。</p>				
<p>イチゴ「愛経4号」の高収益生産技術の確立</p>	<p>（要望の概要）</p>	<p>裂皮果の発生状況を調査し、裂皮果が収益に及ぼす影響を明らかにする。現時点で、裂皮果の発生に影響を及ぼすと考えられる施設内温度や電照時間、養液組成について、裂皮果との関連を調査し、要因を明らかにする。明らかとなった要因について、より詳細な調査を行い、裂皮果の発生を抑制することで収益性を向上させる技術を確立する。</p>	<p>園芸研究部（野菜研究室）</p>	<p>R6～8</p>	<p>ウ 愛知の強みを生かした競争力の高い農業の創造</p>
	<p>イチゴ「愛経4号」で1月以降にたく片付近が裂皮する症状がみられるが、その原因と対策が明らかとなっていない。</p>				
	<p>（設定理由）</p>				
	<p>県が育成した「愛経4号」について裂皮果が発生し、販売戦略上問題となっており、原因と対策を明らかにする必要がある。</p>				

花き類の高品質・多収・計画生産を目指したLED補光の技術確立 (LED照射がシクラメンの生育に及ぼす影響の実証)	(要望の概要)	近年、LED照明が農業の現場にも導入されつつあり、生育促進効果のみでなく防除を目的としたLEDの利用が検討されている。しかし、植物の生育開花への影響はわかっていない。そこで、防除を目的としたLEDが、シクラメンの生育開花に及ぼす影響について明らかにする。	園芸研究部 花き研究室	R6	ア 高収益、省力生産を可能にするスマート農業の実現
	防蛾用LEDに用いられる波長の光（ピーク波長520～577nm）が、本県主要鉢花（シクラメン、アジサイ等）に及ぼす影響の調査。				
	(設定理由)				
肥育期間短縮のための飼料給与体系の確立	(要望の概要)	肥育牛の肥育期間短縮に向けて、肥育ステージに応じた飼料内容の検討を行い、短期肥育のための飼料給与体系を検討する。	養牛	R6～9	ウ 愛知の強みを生かした競争力の高い農業の創造
	肥育牛の生産コスト低減を図るため、肥育期間の短縮（現状30か月齢以上→25か月齢前後）による収益性向上の検証を望む。				
	(設定理由)				
名古屋コーチンにおける循環資源の利用技術の開発	(要望の概要)	肉用名古屋コーチンにおいて、未利用の食品製造副産物や環境負荷軽減資材を飼料化及び飼料添加剤として利用し、肉用名古屋コーチンの健全性、生産物の品質向上を図るとともに、環境に配慮し温室効果ガス等の排出削減に寄与する環境にやさしい飼養管理技術を開発する。	養鶏研究室	R6～9	イ 気候変動等の環境変化に対応した持続可能な農業の推進
	畜産業界においても温室効果ガスなどの排出削減が強く求められるようになってきている。養鶏業に適した環境低負荷な未利用資源などを用いた飼養管理技術を開発して欲しい。				
	(設定理由)				
	養鶏経営において未利用資源の有効活用による生産性の向上、コスト低減と併せて環境負荷を低減させる飼養管理技術は緊急の課題である。				

配水管理用水量の実態調査と適正量の評価(配水管理用水量の実態調査と適正量の評価)	(要望の概要)	用水計画と配水管理用水を含む実態の取水量について、その差異の発生要因の解明を行い、農業者・用水管理者に不利益が生じない範囲での適正量の評価を行うことを目的としたモデル構築を目指す。	農業工学研究室	R6~10	イ 気候変動等の環境変化に対応した持続可能な農業の推進
	(設定理由)				
	本研究の実施により計画用水量と実際の用水使用量の乖離を説明できる要因が見つけれ、適正な用水量を評価するモデル構築ができれば、農業に不可欠である用水の適正量を評価できることが期待される。				
スプレーギク立枯れ症状に対する防除対策の確立	(要望の概要)	病害多発ほ場の土壌消毒前後の病原菌の分布、フラワーネット、支柱、かん水チューブなどに付着する病原菌の分布を明らかにする。	病害虫・戦略統括・技術推進室	R6~7	イ 気候変動等の環境変化に対応した持続可能な農業の推進
	(設定理由)				
	現在行っている土壌消毒等が本当に効果があるのか検証してほしい。また、より有効な対策を確立してほしい。				
農産物再生産価格見える化ソフトの開発(対象作物の生産コストの調査)	(要望の概要)	農産物再生産価格見える化ソフトを開発する。ソフトには、生産費等のコスト及び生産数量を入力することで、農産物1個あたりにかかったコストを表示する機能を実装する。	研究戦略部 技術開発研究室	R6~8	イ 気候変動等の環境変化に対応した持続可能な農業の推進
	(設定理由)				
	資材費等が高騰する中で、生産者が適切に販売価格に転嫁するためには、必要な技術である。				